

【佐賀市 緑のカーテン 育成マニュアル】

暑い夏を涼しく楽しく!!

緑のカーテン

をつくろう!



緑のカーテンって？

緑のカーテンは、夏の暑い時期に窓の外にたらしたネットなどに「つる性植物」を茂らせてつくる天然の日よけのことです。

植物は何がいい？

夏にぐんぐん伸び、冬は日差しが入るように葉が落ちる、ゴーヤやアサガオなどのつる性の1年草が適しています。



ゴーヤ



ヒヨウタン



ヘチマ



アサガオ



フウセンカズラ

緑のカーテンのつくり方

☆ 用意するもの

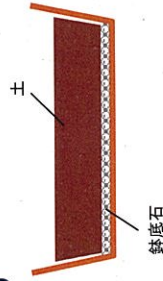
- ・プランター：大きく育てるには、深型（30L以上）が適しています。
- ・鉢底石：水はけをよくするために、プランターの底にうすく敷きます。
- ・土（培養土）：野菜用として販売されているものを選びましょう。
- ・ネット：標準サイズは10cm角です。つる栽培用ネットとして販売されています。
- ・重石：風が強い場所はネットやプランターが動かないように重石をしましょう。
- ・種または苗：つる性の植物です。

ここでは、プランターでつくる方法を紹介しています。
地植えの方が生長しやすいので、場所があれば、地植えにチャレンジしてみましょう！

☆ スケジュール

5月

① 土づくり



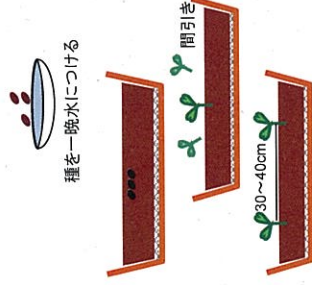
【つくり方】

- ①プランターの底に鉢底石を敷きつめます。
- ②その上に土をたっぷり入れます。

☆ポイント☆

- ・堆肥を入れる場合は、十分に熟成したのを使いましょう。
- ・ふるいにかけて細かい土を落としておく、根つまりにくくなります。

② 種まき・植付け



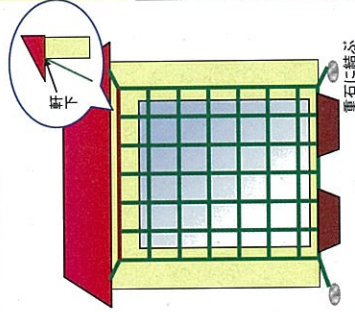
【つくり方】

- ③種から育てる場合、水に一晚つけてから播きます。
- ④種は1箇所3粒播いて、1cmぐらいの深さに植え、土をかぶせます。
- ⑤発芽後、本葉が2~3枚になったら、育ちが悪いものを間引きします。
- ⑥苗は、30~40cmほど離してから植えます。

☆ポイント☆

- ・ゴーヤの種は硬いので、水につける前にとがった先を爪切りで切ります。
- ・水に浮く種は発芽しません。
- ・植えつけた後は、水をたっぷりあげましょう。

③ ネット張り



【つくり方】

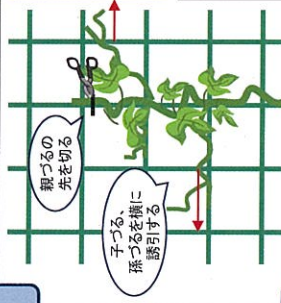
- ※つるが伸びてきたらネットを設置します。
- ⑦屋根の先ではなく、軒下などに結びつけます。
- ⑧上根の棒などを通すとネットがたるみません。
- ⑨下部をどこかに結びつけるか重石をつけます。

☆ポイント☆

- ・南側や西側など、日差しが強い場所を選びましょう。
- ・葺きだけでなく、周りの壁も覆うように大きく張りましょう。
- ・ネットを結ぶ場所がない場合は、物干し用のつっぱり棒などを使います。
- ・ネットを張るときは、安全に注意しましょう。
- 台風などで外れないか？
- 避難経路の妨げとならないか？

6月

④ 茂らせよう



【つくり方】

- ⑩本葉が6〜7枚ぐらいになったら、親づるの先を切ります。
(子づるの成長を促します。)
- ⑪子づる、孫づるの先を横に誘引します。
(ネット全体に広がります。)
- ⑫追肥は、生育の様子を見ながら、約2週間の間隔で行います。

☆ポイント☆

- ・葉が黄色くなるのは、肥料不足の注意信号です。
(ただし、やり過ぎもNGです！)
- ・肥料は、根元から離れたところにやりましょう。

8月

⑤ 育てよう・収穫しよう

⑬最初の頃の実は、栄養分が足りず、あまり大きくなりません。ある程度採ってしまう方がよいでしょう。

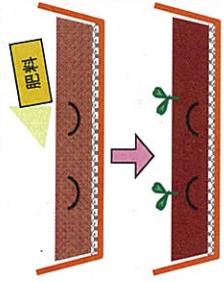


⑭葉が混んできたら適度にカットして、部屋の中に風が入るようしましょう。

⑯写真を撮って、「緑のカーテンコンテスト」に応募しましょう！！

10月

⑥ 来年に向けて



【つくり方】

- ⑰今年の土には、肥料などを混ぜて、春まで休ませましょう。

☆ポイント☆

- ・ゴーヤーなどのウリ科の植物は連作障害が起きやすいので、土壌改良剤を混ぜるか、土を入れ替えましょう。

ワンポイント・アドバイス

水やり



水は朝涼しいうちにやります。夏は朝と夕方に水やりをします。つる性植物は、晩の灌水(水やり)で育つと言われています。

乾燥対策



土の乾燥を防ぐには、マルチング(土を覆うこと)が有効です。佐賀市エコプラザでは、マルチングに使用できる廃材チップを無料で配布しています。

追肥

詳しくは、園芸店などに相談しましょう！

生育状況を見ながら、約2週間間隔で追肥を行います。

〈肥料の3元素〉

- ・リン ← 花や実をつけたい
- ・窒素 ← 葉を茂らせたい
- ・カリウム ← 根を元気にしたい



緑のカーテンの効果

①部屋の中が涼しくなる！

夏の強い日差しを遮るので、室内の温度上昇を抑える効果があります。



さらに…
葉から出る水分が周りの蒸を奪います。

②電気代を抑えられる！

冷房を強く効かせなくても過ごせるので、電気代を抑えることができます。



家計の節約にもつなげます！

③観賞や収穫を楽しめる！

アサガオなどは花の観賞を楽しめ、ゴーヤなどの野菜でカーテンをつくれれば、収穫を楽しむことができます。



大きく育てるには…？

最初は、ゴーヤの実を小さいうちに採ってしまいましょう。実に栄養が集まり、葉やつるが大きく育たないからです。

窓を覆う程度に育つまでの辛抱です。

Q & A

実が小さいのに黄色になる？

小さいうちに黄色になるのは、栄養が足りず、これ以上大きくならないと「悟った」ゴーヤが早く熟した可能性があります。早めに収穫しましょう。

Q & A

水やりは毎日するの？

毎日、朝夕の涼しいときにたっぷりあげましょう。

真夏で土が乾燥するときは、屋にも水をあげましょう。

Q & A

佐賀市 環境課 温暖化対策室

問い合わせ先 / 〒840-8501 佐賀市栄町1番1号
TEL: 0952-40-7201 FAX: 0952-26-5901
E-mail: kankyo@city.saga.lg.jp